



リターンはほしいけど、できるだけ
リスクは取りたくないなあ。

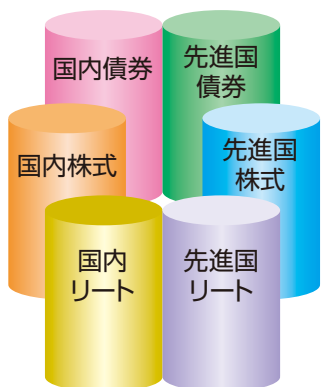
リスクを減らす方法のひとつに「分散投資」があります。

分散投資とは、「**複数の異なる資産に投資をする**」という意味ですが、ただ分散すればよいということではありません。**異なる値動きをするものを組み合わせる**ことで、全体としてのリスクを抑えた効果的な分散投資が可能となるのです。

国内外の分散投資の例

資産の分散

特性の異なる複数の資産を
組み合わせる



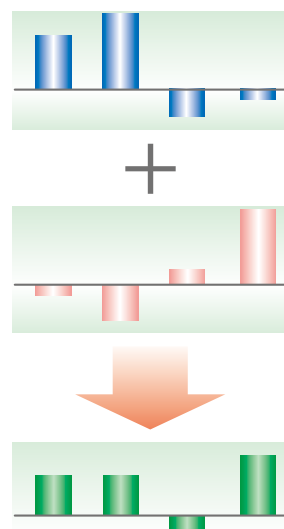
国・地域の分散

複数の国・地域や通貨を
組み合わせる



銘柄の分散

値動きの異なる銘柄を
組み合わせる



上記はイメージ図であり、全てを説明しているものではありません。

分散投資が重要です。1資産に偏りがあると、安定的なリターンが期待できません。

各資産の年間リターンランキング

2004年～2016年

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
第1位	新興国株式 23.0%	新興国株式 54.3%	新興国株式 33.2%	新興国株式 34.6%	国内債券 3.4%	新興国株式 82.6%	新興国株式 5.1%	国内債券 1.9%	新興国株式 31.7%	先進国株式 54.7%	先進国株式 23.8%	国内株式 9.9%	新興国株式 6.6%
第2位	新興国債券 19.2%	国内株式 43.5%	先進国株式 23.2%	新興国債券 13.1%	先進国債券 -15.8%	先進国株式 39.8%	国内債券 2.4%	先進国債券 1.1%	先進国株式 30.8%	国内株式 51.5%	先進国債券 17.6%	国内債券 1.1%	新興国債券 5.1%
第3位	6資産分散 12.9%	6資産分散 24.5%	新興国債券 16.0%	6資産分散 8.1%	新興国債券 -24.3%	6資産分散 24.2%	新興国債券 1.7%	新興国債券 -5.6%	新興国債券 30.4%	6資産分散 25.9%	新興国株式 13.2%	先進国株式 -1.0%	先進国株式 3.5%
第4位	先進国株式 12.8%	先進国株式 23.5%	6資産分散 13.8%	先進国株式 6.5%	6資産分散 -35.6%	新興国債券 23.2%	6資産分散 -0.6%	6資産分散 -8.3%	6資産分散 22.0%	先進国債券 22.9%	6資産分散 12.5%	6資産分散 -3.8%	国内債券 3.0%
第5位	国内株式 10.2%	新興国債券 21.3%	先進国債券 9.6%	先進国債券 6.5%	国内株式 -41.8%	国内株式 5.6%	国内株式 -1.0%	先進国株式 -8.6%	先進国債券 19.0%	新興国株式 19.0%	国内株式 8.1%	先進国債券 -4.8%	6資産分散 2.5%
第6位	先進国債券 9.7%	先進国債券 8.6%	国内株式 1.9%	国内債券 2.7%	先進国株式 -54.6%	先進国債券 5.0%	先進国株式 -1.6%	国内株式 -18.9%	国内株式 18.0%	新興国債券 10.9%	新興国債券 7.8%	新興国債券 -14.1%	国内株式 -1.9%
第7位	国内債券 1.3%	国内債券 0.8%	国内債券 0.2%	国内株式 -12.2%	新興国株式 -63.4%	国内債券 1.4%	先進国債券 -11.9%	新興国株式 -21.1%	国内債券 1.9%	国内債券 2.0%	国内債券 4.2%	新興国株式 -14.2%	先進国債券 -3.7%

※合成指数の値は、6資産を1/6ずつの割合で、各資産の月間リターンを基に毎月リバランス(相場変動などにより変化した投資比率を調整し、1/6ずつの割合を維持)を行なったものとして、野村アセットマネジメントが独自に計算したものです。
各資産の算出に用いた市場指数については、裏表紙をご参照ください。税金・手数料などは考慮しておりません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
(出典)ブルームバーグ等のデータを基に野村アセットマネジメントが作成

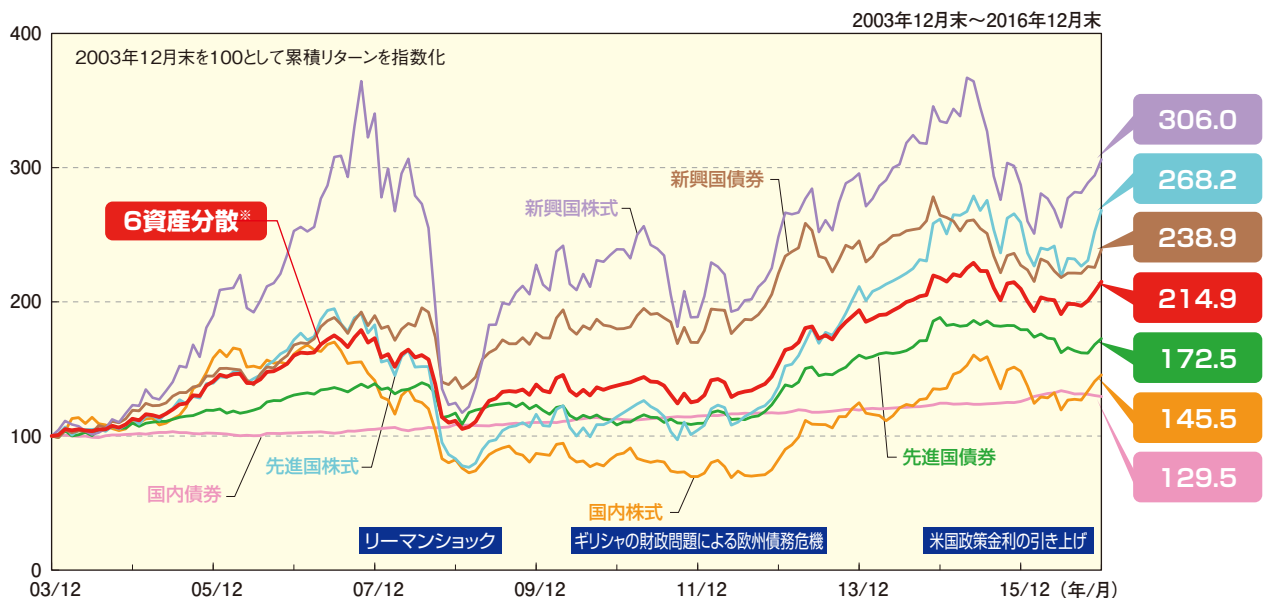
各資産の資産額の推移

	国内債券	国内株式	先進国債券	先進国株式	新興国債券	新興国株式	6資産分散
2003年末	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円
2016年末	129.5万円	145.5万円	172.5万円	268.2万円	238.9万円	306.0万円	214.9万円

※2003年12月末に100万円を投資し、2016年12月末まで保有した場合の資産額の推移について示しています。
※合成指数の値は、6資産を1/6ずつの割合で、各資産の月間リターンを基に毎月リバランス(相場変動などにより変化した投資比率を調整し、1/6ずつの割合を維持)を行なったものとして、野村アセットマネジメントが独自に計算したものです。
税金・手数料などは考慮しておりません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
(出典)ブルームバーグ等のデータを基に野村アセットマネジメントが作成

複数の金融資産を組み合わせることで、リスクが比較的小さく、安定した成長となりました。

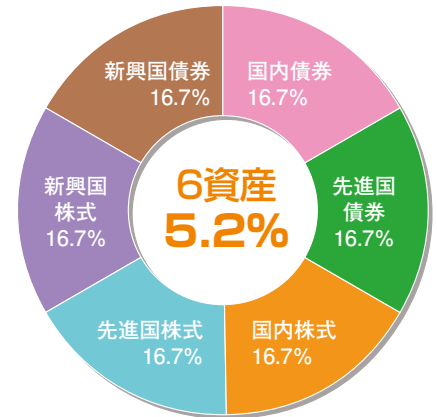
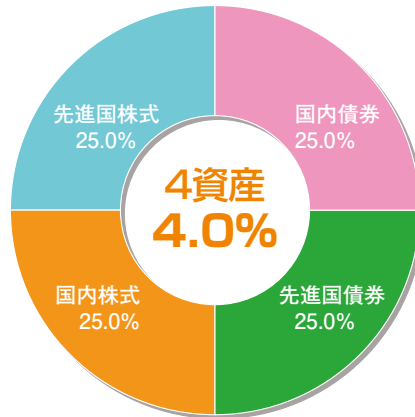
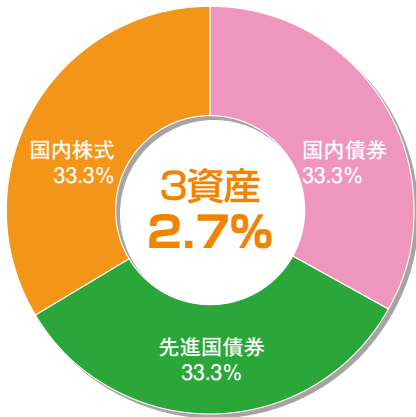
各資産の過去のリターンの推移



※合成指数の値は、6資産を1/6ずつの割合で、各資産の月間リターンを基に毎月リバランス(相場変動などにより変化した投資比率を調整し、1/6ずつの割合を維持)を行なったものとして、野村アセットマネジメントが独自に計算したものです。各資産の算出に用いた市場指数については、裏表紙をご参照ください。
税金・手数料などは考慮しておりません。グラフは過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
(出典)ブルームバーグ等のデータを基に野村アセットマネジメントが作成

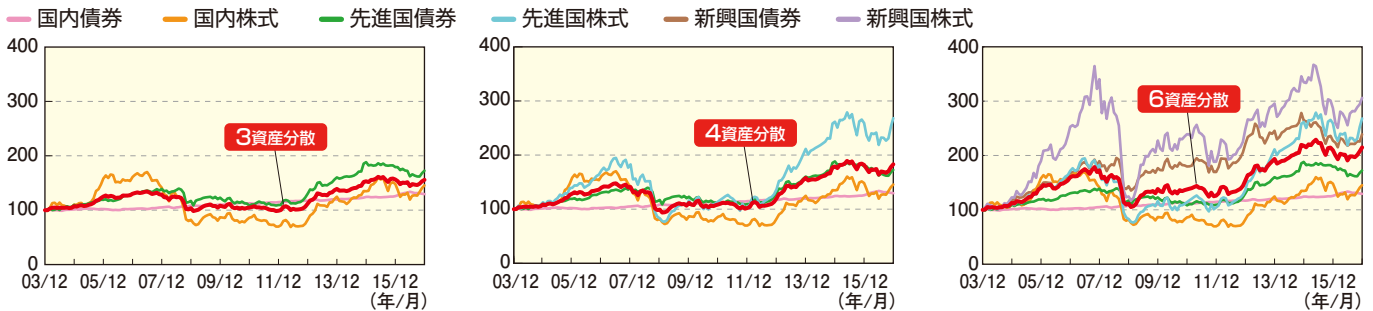
資産分散の参考例

資産分散投資で10年間保有した場合の平均リターン(年率換算)



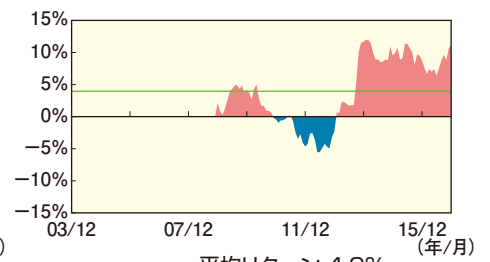
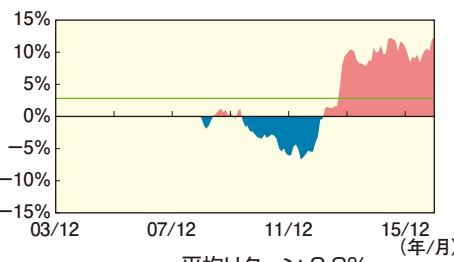
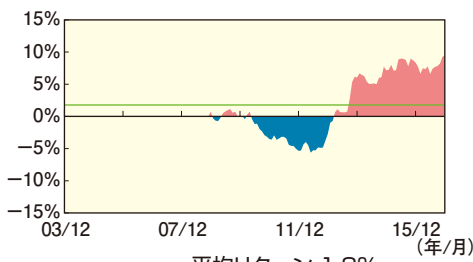
2003年12月末～2016年12月末

各資産のリターン推移

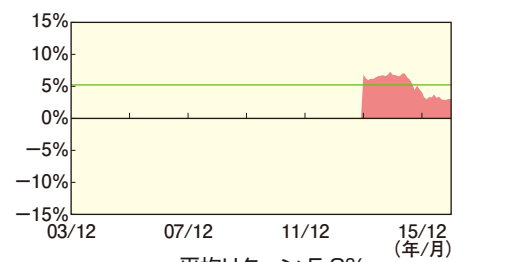
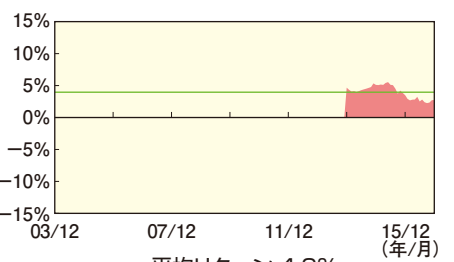
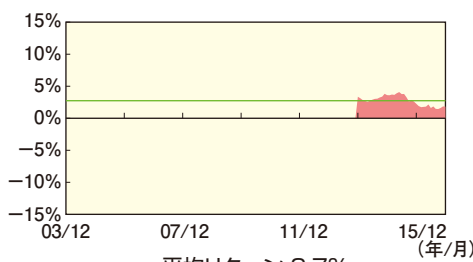


保有期間別年率リターンの比較

5年間



10年間



※3資産は国内債券、国内株式、先進国債券の3つの資産を1/3ずつの割合で、各資産の月間リターンを基に毎月リバランス(相場変動などにより変化した投資比率を調整し1/3ずつの割合を維持)、4資産は先進国株式を加えた4つの資産を1/4ずつの割合で、各資産の月間リターンを基に毎月リバランス(相場変動などにより変化した投資比率を調整し1/4ずつの割合を維持)、6資産は新興国債券、新興国株式を加えた6つの資産を1/6ずつの割合で、各資産の月間リターンを基に毎月リバランス(相場変動などにより変化した投資比率を調整し1/6ずつの割合を維持)を行なったものとして、野村アセットマネジメントが独自に計算したものです。

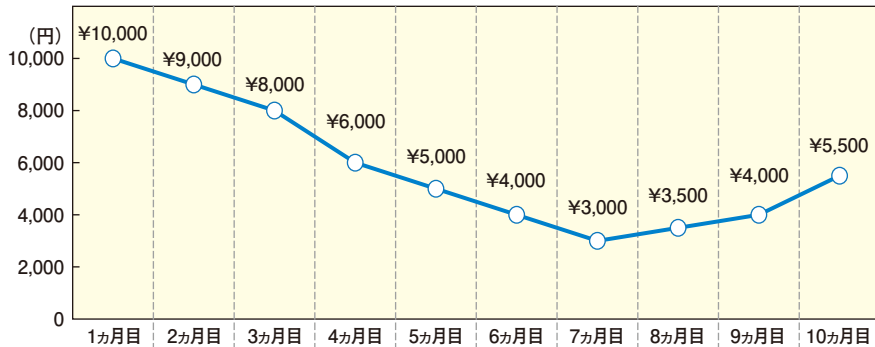
各資産の算出に用いた市場指数については、18ページをご参照ください。例えば、2016年12月末の年率リターンは、2016年12月末までに1年間保有した場合、5年間保有した場合、10年間保有した場合の年率換算したリターンを示しています。税金・手数料などは考慮していません。グラフは過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(出典)各種データを基に野村アセットマネジメントが作成

投資する時間を分散するという方法があります。

一度にまとめて投資をしないで、時間をずらして投資を続ける「**時間分散**」という方法があります。価格が上下に変動する商品は、購入金額が一定の場合、**その時の価格により購入できる数量が変わります**。一定金額ずつ定期的に購入すると価格が高い時には数量を少なく、安い時には数量を多く買うことになり、一定数量を定期的に購入するより単位あたりの価格を低く抑えることが期待できます(ドル・コスト平均法)。

積立・均等購入の効果



同じ100万円の原資を異なる手法で運用した場合の10ヵ月目の比較



上記は積立・均等の金額で投資信託などを購入した場合のイメージ図です。また、計算過程において税金・手数料等は考慮しておりません。実際の算出とは異なります。(作成)東京スター銀行

「ドル・コスト平均法」の例:日経平均株価



上記は過去の市場指数を基に野村アセットマネジメントが算出したシミュレーション結果であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。算出過程で取引コスト等は考慮しておりません。市場指数そのものに投資することはできません。(出典)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメントが作成

投資時期を分けることによってリスクを抑えられるんだね。

